

彙報

京都大學文學部哲學科卒業論文題目

昭和二十九年三月

哲學專攻

新制 磯江 景孜 カントに於ける形而上學の基礎づけについて

——人間的意識の有限性の自覺として——

木村 彰吾 ハイデッガー眞理論の位置

瀬島 豊 個性者としての實存

——ハイデッガー哲學の根柢をなすもの——

谷 哲美 ヘーゲル「精神現象論」における自己疎外について

中島千高城 理解について

原田 仁史 數學の論理的考察

久野 晋良 プラトンの「ゴルギアス」に於ける善の問題

觀山 雪陽 カントにおける對象性の問題

村田 喜孝 カントの最高原則に就いて

舊制 朝田 邦夫 バスカルの人間學より

有尾 善繁 ヘーゲルの社會觀

——特に個體的自由との關係に於ける——

池内 健次 カントに於ける實踐理性の根本法則

城村 良一 ニーチェ「ツァラトゥストラ」を主題に——  
孤獨から超克へ（永遠回歸思想の環節として）——

鈴木 茂 デカルトの人間論について

——その道徳的要素について——

高島 弘文 ベルグソン「物質と記憶」に於ける二元の統一について

若水 Hegel 研究 (Ueget & Baum, Frankfurt 期) の思想の發展を考察する

永田 治良 nima elementa monas

——所謂「單子論」をめぐる——

西洋哲學史專攻

新制 村川 滿 アウグスティヌス哲學の有神論的性格

——「De Civitate Dei」を中心として——

舊制 生島 幹三 Platon の「カルミデス」について

岡本 務 プラトン前期思想に於ける「メノン」の地位

羽根田 明 プラトン「ゴルギアス」について

水野 有庸 現象學的問題の關聯

——フッサール理解の指針——

印度哲學史專攻

新制 中祖 一誠 カーターカ・ウパニシャッドに於けるヨーガ說

服部 融昇 yoga 學派における citta の性格

支那哲學史專攻

舊制 守脇 正 王符の思想

心理學專攻

新制 大羽 泰 運動に影響を及ぼす空間間隔因子についての實驗的考察

——客體的、組織的及び現象的問題の相對的干渉について——

北村日出夫 記憶と社會的態度について

木下 富雄 兒童集團に於ける Rumor の傳達経路に關する實驗的研究

榎中 達 圖形の認知構成過程の發達の研究

不破 三雄 自己中心的言語の發達の研究

本多 一郎 Magerのフラストレーション理論の實驗的檢討  
——兒童における認知辨別作業によるフラストレーションの實驗——

丸山 康則 兒童における關係判斷の發達の研究

村井 潤一 幼兒の思考に關する實驗的研究  
——抽出及び構成について——

舊制 森川彌壽雄 一對聯合學習に於ける刺戟語と反應語の役割について  
——轉移及び前向抑制における刺戟と反應の役割——

伊吹 昌夫

加藤 豐子 幼兒の圖形類同視の發達の研究

平野 俊二 場處學習と反應學習について

教育學教授法專攻

舊制 實吉 隆治 ソヴェトの集團教育について  
——マカレンコを中心とする——

山口 透 都市における少年犯罪の教育學的試論

美學美術史專攻

新制 赤松 光雄 舞臺藝術における劇構造について

伊藤 久 俳優心理學の課題

大島 尚 裝飾論

後藤 博明 轉換期の美意識  
——十八世紀ドイツについて——

塩見彌壽男 喜劇論

新見 嵩 文藝作品に於ける言語

原田 耕造 映畫の表現の考察

彙報

福井榮一郎 メルスマンの力性概念について

藤久 直彦 映畫の方法  
——ハイデッガーとアズバーニ——

森口市三郎 質存論的存在論の美學に關する試論

和髙 伸二 美的判斷力批判の課題

舊制 岡村 卓土 テーヌの「藝術哲學」に關する一考察

久富 昭典 レアリズムに就ての一考察

宮井 綾子 氣分的象徴について  
——オーグブレヒトの端的對象——

社會學專攻

新制 一九 英世 阿波藩百姓一揆の展開過程について

岡本 秀昭 二〇八年前後のアメリカの社會階級  
——特に村落を中心として——

難波 哲夫 日本社會の近代性

西川 壽夫 社會階層と社會的移動  
——特に職業を中心として——

平岡 義治 村落社會調査(徳島縣吉野郡半田町)

平田 敬三 道德の社會學的研究

福山 彌平 社會調査  
——京都志保における身分社會の研究、西志布志村伊藤田村密の研究——

宮城 宏 特殊身分層としてのアメリカ・ニグロ集團の考察

山村 達哉 文化の統合性について

有賀 開平 ウェーバー社會學の基礎  
——方法論を中心として——

舊制

加岡 三郎 「鹿地事件」に關する報道機關の論調の分析

五五

哲學研究 第四百二十五號

宗教學專攻

新制

牧野 自然

キエルクゴールに於ける宗教性的の問題について

佛教學專攻

舊制

石川 良昱

楞伽經の研究

京都大學文學部哲學科講義題目

——昭和二十九年度——

哲 學

講義

三宅 剛一

哲學概論

(哲學的思維の特質、哲學の諸問題及び立場等を概観する)

研究

三宅 剛一

歴史存在論

(歴史の領域の限界づけ、歴史の構造、歴史主義の問題等を存在論的觀點から考察する)

上田 泰治

科學哲學の諸問題

(科學哲學の成立の問題、科學論理學、確率論、自然觀を考察する)

演習

三宅 剛一

Kant, Kritik der reinen Vernunft

三宅 剛一

Hume, A Treatise of Human Nature

澤瀉 久敬

Descartes, Méditations métaphysiques

三村 勉

Kant, Kritik der Urteilskraft (I. Teil: K. d. ästhetischen Urteilskraft)

西洋哲學史

講義

田中美知太郎

西洋古代哲學史概説

(哲學の始源からアテナイ期の哲學までを概説する)

高田 三郎

西洋中世哲學史概説

(初期スコラから盛期スコラを中心に概観を行う)

野田 又夫

西洋近世哲學史概説

(近世哲學の全般的概観を行う)

研究

田中美知太郎

ギリシア政治思想の研究

(ソロンからアリストテレスに至るまでの政治思想について、その思想史的背景と文化史、社會史的關聯をたどる)

高田 三郎

普遍者論の研究

(アペラールからトマスに至る展開を典據の解釋を伴いつつ研究する)

Vincent Pouliot

聖トマスの存在的有の形而上學について

(Aristotelesの形而上學が實體的有の形而上學であるのに對して St. Thomasのそれを存在的有の形而上學として規定し、後者の特性の研究を行う)

野田 又夫

ライプニッツ哲學研究

田中美知太郎

Aristoteles, Analytica Priora et posteriora

演習

田中美知太郎

(前學年にひきつずきアリストテレス論(理學書)についてアリストテレスの思考法を究明する)

田中美知太郎

Plato, Sophistes

(プラトン後期著作の文體、思想に習熟させるための演習を行う)

田中美知太郎

古代哲學研究文獻の紹介と批評

(原文についての主演習に對して、内外最近の文獻を紹介批評し、古代哲學研究の現状を知らしめるための副演習)

鈴木 照雄

Plato, Apologia Socratis

(ギリシヤ語を終えた學生のために、プラトンの著作を読む手ほどき、入門の役をする演習。なお餘裕あれば、プラトンの初期著作の他のものをも読む豫定)

高田 三郎

Thomas Aquinas, Summa Theologiae (本年度は Pars prima, Quaestio LXXXIX まで)

高田 三郎

Augustinus, Confessiones

(前學年の續き。今年は第八卷より)

高田 三郎

Thomas Aquinas, In Metaphysicam Aristotelis Commentaria

(Thomism と Aristotelism との比較研究の一端として、若干演習)

野田 又夫

Kant, Kritik der Urteilskraft

(「序論」及び「目的論的判斷力批判」を讀む)

山元 一郎

Schelling, Über das Wesen der menschlichen Freiheit

(前學年に引續いて讀了の豫定)

松平 千秋

ギリシヤ語文法(週四時間)

(田中、松平共著「ギリシヤ語入門」を用う)

鈴木 照雄

ギリシヤ語文法(週二時間)

(田中、松平共著「ギリシヤ語入門」を用う)

山田 晶

ラテン語文法(週四時間)

(吳「ラテン語入門」を使用)

泉井久之助

ラテン語文法(週二時間)

(泉井「ラテン廣文典」を使用)

印度哲學史

松尾 義海

印度哲學史

(ヴェーダより諸派哲學にいたる哲學思想の講述)

講義

松尾 義海

印度に於ける業思想の研究

(ウパニシアッド、マハーパハリタ、諸法典及び諸派哲學體系に於ける業思想を研究する)

佐保田鶴治

ウパニシアッド神祕思想の起原

(ウパニシアッド神祕思想の根元をリグ・ヴェーダ末期の密儀的宗教思想に求めるといふ立場から、その密儀的宗教思想からウパニシアッドに至る展開の歴史的過程として、アタルグ・ヴェーダの咒法と梵書の神智學とを調査してみようとする)

詠波 周

古代印度の科學思想

(古代の科學知識を明かにし、科學と思想との關連を文化史的に考察する)

演習

松尾 義海

Sankhya-karika

(數論頌 Sankhya-karika)を梵文、註釋及び漢譯註釋を参照しつつ研究する)

松尾 義海

Vyasa, Yoga-bhāṣya

(前學年の續き。瑜伽經に對する他の梵文語註釋を参照しつつ、本書の解讀研究を行う)

支那哲學史

講義 重澤 俊郎 支那思想史

(支那思想の各部門に關するやゝ詳細な歴史的的研究)

研究 重澤 俊郎 唐宋宋初の合理主義

(唐宋宋初に出現する合理主義の研究によつて宋代哲學の形成過程を明かにする)

佐藤 匡支 「論衡」研究

(「論衡」に現れた王充の思想を通して後漢時代の合理思想を研究する)

演習 重澤 俊郎 儀禮注疏(喪服)

(喪服規定に現れた古代家族秩序の理解並びに叡解力の涵養)

重澤 俊郎 顧炎武「日和錄」(卷二十)

(批判力並びに叡解力の涵養)

心理學

講義 矢田部達郎 心理學概論

(矢田部「心理學序説」をテキストとして使用し心理學の基本的概念及び根本問題に關する體系的概説)

研究 國原 太郎 發達心理學

(發達心理學の基本的問題を系統化し、これについての諸事實を概観する)

佐藤 幸治 意志心理學

(Lewin一派の研究とその發展を中心としつゝ行動の構造及び法則の解明をはかる)

今田 惠 人格心理學

(人間性探求の學としての心理學の發展と人格形成の過程並びに現代社會心理學との關連を研究する)

本吉 良治 心理學實驗法

(心理學において特に用いられる實驗計画法及び實驗處理法)

柿崎 祐一 知覺心理學(前期)

(主として視知覺に就いて現代心理學の問題の概観)

末永 俊郎 社會心理學(後期)

(集團行動の研究) (E. G. Boring, A History of Experimental Psychologyを中心とする演習)

演習 矢田部達郎 心理學史

(現代心理學の諸問題(覺を取上げて解説討論)

國原 太郎 現代心理學の諸問題

(心理學の初歩的實驗)

本吉 良治 心理學實驗演習

(心理學の初歩的實驗)

柿崎 祐一 知覺心理學の問題(後期)

(現代知覺心理學の諸問題に關する外國文獻を中心とした演習)

末永 俊郎 社會心理學の問題(前期)

(現代社會心理學の諸問題に關する外國文獻を中心とした演習)

講義 國原 太郎 J. Piaget, La Psychologie de l'Intelligence

本吉 良治 I. A. McGeech and A. L. Irion, The Psychology of Human Learning

倫理學

講義 島 芳夫 倫理學概論

(倫理學の課題、方法等の諸問題)

研究 島 芳夫 近代道徳の形成

(主としてヨーロッパの啓蒙時代)

坂田 吉雄 明治道徳史

(主として明治初期)

演習 島 芳夫 Kant, Kritik der praktischen Vernunft

(前年度の續き)

島 芳夫 倫理學の諸問題

Hegel, Grundlinien der Philosophie des Rechts

(前年度の續き)

保田 清 J. Bentham, An Introduction to the Principles of Moris and Legislation

(前年度の續き)

美學美術史

講義 井島 勉 美學序論

(美學の方法と課題に關する基礎的考察)

研究 井島 勉 藝術の分類

(諸藝術の分類と相互の關聯に關する研究)

上野 照夫 東洋の藝術論

(印度、中國、日本の主なる藝術論を紹介し、それぞれの特質を明かにする)

蓮實 重康 天平和なるものより弘仁貞觀的なものへ  
の美術史の展開

(彫刻を中心とする日本美術史の一問題  
について考察する)

吉川 逸治 近世の西歐美術史

(ルネサンス時代の西洋美術)

野村 良雄 音樂史上の諸革命

(西洋音樂の歴史に現れた諸々の革新現  
象に關する研究)

演習 井島 勉 美學美術史の諸問題

(Nicolaï Hartmann, Aesthetik 及び  
Wölfflin, Gedanken zur Kunstge-  
schichte を參考書とする)

河本 敦夫 Schiller, Philosophische Schriften

社會學

講義 臼井 二尚 社會學概論

(社會學方法論、社會關係、社會集團等  
の諸領域に亘り主要問題若干を抽出し  
て、稍、詳しく説述する)

研究 臼井 二尚 村落社會學

(近年調査せる村落の若干の實態を中心  
として日本村落の社會學的分析解明を  
試みる)

江藤 則義 社會調査の方法

(前年度に續き、調査方法の原理を主と  
して講義する)

岡崎 文規 人口理論と人口政策

(日本における人口増加の分析について  
も論及する)

演習

白井 二尙

社會學の諸問題

(學生に各自が現在究明しつゝある問題について研究發表を求め、それらについて出席者一同が討議する)

姫岡 勤

Emile Durkheim, De la division du travail social

渡邊 洋二

T. C. McCormick, Elementary Social Statistics

宗教學

講義

武内 義範

宗教學概論

(宗教の本質及び現象の諸形態を考察する)

研究

西谷 啓治

近代精神と宗教

(兩者の間に生じている根本的な諸問題の研究)

武藤 一雄

神學と宗教哲學

(神學と哲學との連關と相違について考察する)

棚瀬 襄爾

宗教の文化性と社會性

(文化人類學的な文化理論並に社會理論から宗教を考察する)

演習

西谷 啓治

Heidegger, Über den Humanismus

武内 義範

Hegel, Phänomenologie des Geistes

西谷 啓治

Schleiermacher, Über die Religion

武内 義範

(前學年の續き)

佛教學

講義

長尾 雅人

佛教學概説

(佛教學の入門としての概説)

研究

長尾 雅人

華嚴五教章研究

(華嚴哲學の中樞としての五教章をとり上げ、之を印度大乘的眼界から研究せんとする)

塚本 善隆

中國佛教に於ける禮拜對象

(六朝以後に於いて禮拜對象が如何に變遷せるかを殘存せる諸文獻、諸石刻等によつて檢討する)

安藤 俊雄

天臺教學概説

(一念三千の教義を中心として天臺教學全般への入門の講義を行う)

演習

長尾 雅人

究竟一乘實性論(梵文)

(近年發見せられたその梵本 Ratnago-travibhaga Mahayanoctarantara)の藏・漢譯との對照研究

山口 益

月稱四百論釋(西藏文)

(前學年の續き。提案四百論第十二品以下)の月稱釋を研究、梵文斷片を参照す

基督教學

講義

有賀鐵太郎

未定(後期より開講)

研究

片山 正直

バルト神學研究

(前學年の續き)

演習

有賀鐵太郎

未定(後期より開講)

有賀鐵太郎

Tillich, Systematic Theology

西谷 啓治

(前學年の續き)

Gwilym G. Lloyd

舊約原典講讀

受贈圖書

繩田二郎著 西書一郎先生の生涯と哲學

(昭和廿八年一月十日發行 人類思想社)  
(B6版・二九頁・定価二三〇圓)

受贈雜誌

- 一橋論叢 一橋大學一橋學會 三十卷二、三、四號
- 經濟論叢 京都大學經濟學會 七十二卷二、三、四號
- 龍谷論叢 佐賀龍谷短期大學 備刊號
- 經濟學雜誌 大阪商科大學經濟研究所 二十八卷三、四、五、六號
- 立命館文學 立命館大學人文科學研究所 九九號一〇〇號
- 國語國文 京都大學國文學會 二二七、二二八、二二九號
- 東洋史研究 京都大學內東洋史研究會 十二卷四、五號
- 史學雜誌 東京大學文學部內史學會 六十二編八、九號
- 美學 美學會 十四號
- 基督教研究 同志社大學神學部內基督教研究會 二十七卷一號

人文學報 東京都立大學人文學會 九、一〇號

史林 京都大學文學部內史學研究所 三十六卷二、三號

文藝 東北大學文學會 十七卷四、五號

宗教研究 日本宗教學會 一三五號

法文論叢 熊本大學法文學會 四號

哲學雜誌 哲學會 六十八卷二號

人文論究 關西學院大學文學會 四卷一號

密教文化 高野山大學密教研究會 二十三號

山口經濟學雜誌 山口大學經濟學會 四卷一、三、四號

文學研究 九州大學文學部內九州文學會 六十四編

アカデミア 南山大學內南山學會 五號

心理學研究 日本心理學會 二十四卷二號

東洋大學紀要 東洋大學 五編

岡山大學法文學部紀要 第二號

高知大學學術研究報告 一卷十五號